

The Japan Association for Research on Testing

# 日本テスト学会

## 第15回大会

第1号通信

2017年3月1日 発行 日本テスト学会第15回大会実行委員会

### 日本テスト学会 第15回大会開催のご案内

## 「真正な評価」への挑戦

# JART

The Japan Association for Research on Testing

このたび、日本テスト学会第15回大会を東北大学百周年記念会館・川内萩ホールにおいて開催させていただきますことになりました。東北大学を開催校とする仙台での大会は、2006年の第4回以来、2度目になります。2003年に東京大学駒場キャンパスで第1回大会が開催されてから今大会で15回目の節目を迎えましたが、同一大学における複数回の開催は初となります。大変名誉なことだと思いつつも、2度目なりのプレッシャーも感じる次第です。前回は参加された皆様方にもご満足いただけるように、趣向を凝らした大会にしたいと考えています。

思えば、前回の開催から今日に至るまでに仙台の街は大きく変わってきました。一番大きな出来事は2011年3月11日に発生した東日本大震災ということになるでしょうか。おかげさまで仙台の街中にある限り、震災の傷跡はほとんど感じることはなくなりました。むしろ、仙台駅前の再開発によって見違えるようなきれいな街並みとなっています。今大会に直接関わる大きな変化は、何と言っても会場となる東北大学百周年記念会館・萩ホールの開館と地下鉄東西線の開通です。東北大学百周年記念会館・萩ホールは従来の記念講堂を2007年に大学創立100周年記念事業の一環として改修されたものです。特に、再設計された大ホールは、コンサートと講演会という両立が難しい機能を音響学的に追求した構造となっているそうです。一般公開となる二つのイベントは、ホールの性能を参加者に体感していただくことも狙いの一つとして企画いたしました。さらに、2015年12月に開通した地下鉄東西線は、仙台駅から会場のある東北大学川内キャンパスへのアクセスの利便性を格段に向上させました。仙台駅から最寄りの国際センター駅までわずか5分の近さです。小ぶりでコンパクトな車両が地上に顔を出して広瀬川を渡ると国際センター駅に到着。便利さとともに一瞬の旅情も味わっていただければ幸いです。

大会のテーマは「『真正な評価』への挑戦」としました。基調講演にはフィンランドの大学入学試験で今年から導入される予定のCBTについて紹介していただくために、ユバスキュラ大学からラッセ・カンナス教授をお迎えします。大会テーマに込められた多義的なニュアンスの意図するところを、参加者個々人の感性によって受け止めていただければ幸いです。

本大会が有意義な会となりますよう、実行委員一同、最善を尽くす所存です。お盆休み明けの残暑厳しい時期の開催となりましたが、多くの皆様のご発表、ご参加をお待ち申し上げます。どうぞよろしく願いいたします。

日本テスト学会 第15回大会実行委員長  
東北大学 高度教養教育・学生支援機構 倉元 直樹

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/jart2017/>

# 1. 開催期日と会場

期 日

2017年 8月 19日 (土)・20日 (日)

会 場

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 40 (東北大学 川内キャンパス)

## 2. 内 容

大会は、公開企画、基調講演、シンポジウム、研究発表セッションで構成されます。尚、一部のタイトルは現時点のもので、変更の可能性があります。

### 2.1. 公開企画

企画セッションは、8月19日(土)に下記の2つの企画を予定しております。当セッションは一般公開で行なわれます。

#### 公開企画 1 「センター試験のリスニングを皆で体験！」

企画：大会実行委員会

センター試験の英語リスニングは、他の科目の試験とはちょっと実施の様子が違います。この公開企画では、高校生をはじめ、一般の方も対象にして、実際にセンター試験で使われているICプレーヤーを使って、本物のリスニングに触れる機会を提供します。東北大学高度教養教育・学生支援機構と共催で、ふだんなかなかできない受験体験、自己採点にも挑戦する他、リスニングのよもやま話も織り込む予定です。参加した方々には、センターのリスニングをより身近に感じていただき、本番でも自然体で受験してもらえよう目指します。

話題提供 内田 照久 先生 (大学入試センター)

#### 公開企画 2 「新体操はどのように採点されるのか」

企画：大会実行委員会

これまで芸術スポーツの採点方法に疑問を持ったことはありませんか？当たり前ですが、審判員はとても細やかな目で採点を行っているんです。本公開企画では、参加者

の皆様にも新体操を実際に採点して頂くことを通して、より芸術スポーツの面白さを知って頂きたいと思っております。新体操の「いろは」から採点規則まで、普段あまり触れることのない競技の、新しい楽しみ方を皆様と共有できるようご紹介していきます。

話題提供 河野 未来 先生 (仙台大学 宮城県体操協会理事)

新体操演技(実演) 仙台大学 新体操競技部



## 2.2. 基調講演

8月19日(土)に下記の基調講演を予定しております。当セッションは大会参加費を納入した方のみ参加することができます。

### 講演題目

フィンランドの大学入試におけるCBT導入について(仮)

### 基調講演

Lasse Kannas 先生 (University of Jyväskylä)  
〔ラッセ カンナス 先生 (ユバスキュラ大学)〕

## 2.3. シンポジウム

シンポジウムは、8月20日(日)に3つの企画枠を用意しております。当セッションは大会参加費を納入した方のみ参加することができます。詳細は後日追ってお知らせいたします。

## 2.4. 一般研究発表

### 発表形式

- ・発表は口頭発表によります。発表時間は、原則として質疑応答 5 分間を含む 20 分間の予定です。
- ・発表のための資料として、抄録集以外に補足資料を利用される場合は、配布用プリント約 50 部を用意してください。
- ・発表会場にはプロジェクタを用意しておきます。その他の発表用機器の使用を希望される場合は、抄録原稿送付時に第 15 回大会事務局までご相談ください。

### 発表要件

- ・「発表者のうち少なくとも 1 名は本学会会員」「発表論文抄録集への論文掲載」「口頭発表」という 3 つの条件をすべて満たすことによって、公式発表として認められます。

## 2.5. 懇親会

大会初日の夜（8 月 19 日 18:30 開始予定，20:00 頃終了予定），懇親会を行います。

## 2.6. その他

企画の詳細につきましては、準備が出来次第、大会 Web ページにアップします。

# 3. 大会参加および一般研究発表の申込み

## 3.1. 申込み手続き

大会参加・発表に関する各種申し込み手続きは、2017 年 4 月 1 日（予定）より大会ホームページにて開始します。

大会参加、および、一般研究発表の申込みは、それぞれの期日（下記参照）までに、大会ホームページ（<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/jart2017/>）から行なってください。

大会参加の申込みには、参加申込システムにて新規登録が必要です。必要事項を入力することで、参加の申込み、一般研究発表の申込み、発表論文抄録集原稿の送信ができます。

大会参加、および、一般研究発表の申込みは、それぞれの期日（次頁参照）までに、以下のいずれかでお申込みください。

注) システム上で入力できない方は、大会事務局まで E メールで必要事項をご記入の上、お申し込みください。 E メールにて大会参加、および、一般研究発表を申し込まれた方には、受付後 2 週間以内に、確認のメールをお送りします。なお、一般研究発表については、発表題目および要旨に基づいて審査を行い、本大会の趣旨に沿わないと判断される場合はその旨ご連絡致します。

## 3.2. 申込み等期限

一般研究発表・参加申込開始	: 2017年4月 1日 (土)
一般研究発表の申込み期限	: 2017年6月 9日 (金)
一般研究発表の発表論文抄録集原稿送付期限	: 2017年6月30日 (金)
大会参加の事前申込み・諸費用事前払込期限	: 2017年7月31日 (月)

## 3.3. 諸費用の払込み

大会参加費、および、懇親会参加費の事前払込みは、期限までに大会参加の事前申込みを済ませた上で、2017年7月31日(月)までにお手続きください。大会 Web ページよりクレジットカード、コンビニ支払、銀行振込等にて事前払込みが可能です。いずれの場合も、手数料は依頼人負担となりますのでご了承ください。

	大会参加費				懇親会 参加費
	正会員	法人会員	準会員・ 学生	非会員 (学生除く)	
事前払込み (7/30 まで)	5,000 円	5,000 円	3,000 円	6,000 円	5,000 円
当日支払い (会場にて)	6,000 円	6,000 円	4,000 円	7,000 円	6,000 円

## 払込みに関するお願いと注意

- ・大会参加申込については振込前に HP 上からお申し込みください
- ・必ず参加登録者名で払い込んでください。
- ・振り込み用紙でお支払いの場合、払込み金額の内訳を明記してください。
- ・利用明細は領収書の代わりとして必ず保管してください。
- ・参加の事前申込みをされても、期限までに事前払込みを完了されない場合は当日支払いの適用になりますのでご注意ください。

## 4. 抄録原稿の作成・送付

- ・抄録原稿は発表申込の時点から受付可能です。原稿締切は 6 月 30 日を予定しています。ご報告を予定される方におかれましては、ご準備をお願いいたします。尚、「抄録作成要領」は準備ができ次第、第 2 号通信（メール）でご案内いたします。また大会 Web ページ（ <http://www.ihe.tohoku.ac.jp/jart2017/> ）にも掲載いたします。
- ・抄録原稿は、大会 Web ページ上のフォームからお送りください。大会 Web ページ上のフォームから送信できない場合は、メールまたは郵便にて、第 15 回大会事務局宛にお送りください。
- ・原稿送付期限（2017年6月30日（金）必着）を厳守してください。
- ・第 2 号通信は、5 月中旬にメールにてご案内予定です。

## 5. 大会プログラム・論文抄録集

- ・大会プログラムは、8 月上旬に大会 Web ページにてお知らせする予定です。
- ・論文抄録集は、大会参加者には当日会場受付にてお渡し致します。

## 6. 会場アクセス等

- ・アクセスの詳細は、下記 URL を参考ください。

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/hagihall/access/>



- ・仙台市地下鉄：

東西線で「川内駅」または「国際センター駅」下車

川内駅下車：南 2 出口から徒歩約 7 分（川内北キャンパス内経由）

国際センター駅下車：西 1 出口から徒歩約 5 分（扇坂階段経由）

※国際センター駅が最寄ですが、**急な階段**をお上りいただくこととなります。ご注意ください。

- ・タクシー：仙台駅から約 10 分
- ・徒歩：仙台駅から約 40 分

### 注意事項

- ・地下鉄東西線開業に伴い、従来の市バス路線が変更及び廃線になっています。
- ・萩ホール駐車場は数に限りがあります。あらかじめご了承ください。
- ・当日は公共交通機関のご利用にご協力ください。
- ・表記の所要時間は交通状況等により異なります。
- ・大会会場にクロークを準備いたします。ご利用ください。

## 7. 共催・後援

### 共催

- ・東北大学高度教養教育・学生支援機構
- ・文部科学省委託事業「個別学力試験『国語』が測定する資質・能力の分析・評価手法に関する研究——記述式問題を中心に——（代表：北海道大学）」
- ・科学研究費補助金基盤研究（A）課題番号：16H02051「高大接続改革の下での新しい選抜方法に対する教育測定論・認知科学・比較教育学的問題評価」

### 後援

- ・国立大学法人東北大学，宮城県教育委員会他

## 8. 第15回大会事務局連絡先

日本テスト学会第15回大会事務局

住所：〒980-8576 仙台市青葉区川内28

東北大学入試センター 内

E-mail：[jart2017@ihe.tohoku.ac.jp](mailto:jart2017@ihe.tohoku.ac.jp)

## 9. 第15回大会実行委員会名簿

倉元直樹（実行委員長，東北大学高度教養教育・学生支援機構）

宮本友弘（事務局長，東北大学高度教養教育・学生支援機構）

田中光晴（幹事，東北大学高度教養教育・学生支援機構）

泉毅（教育測定研究所），小浜明（仙台大学），小松恵（岩手医科大学），河野未来（仙台大学），

石上正敏（東北大学高度教養教育・学生支援機構），庄司強（同左），樫田豪利（同左）